

## 平成24年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成24年2月9日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ウィザス  
 コード番号 9696 URL <http://www.with-us.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役  
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 生駒 富男  
 (氏名) 井尻 芳晃

TEL 06-6264-4202

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	11,198	4.8	313	49.2	311	47.3	27	
23年3月期第3四半期	10,682	13.3	616		590		99	

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 6百万円 ( %) 23年3月期第3四半期 12百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	2.77	
23年3月期第3四半期	9.91	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	13,900	4,215	29.5
23年3月期	15,245	4,387	28.0

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 4,103百万円 23年3月期 4,273百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期		5.50		10.00	15.50
24年3月期		5.50			
24年3月期(予想)				8.00	13.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,979	6.9	1,079	12.4	1,056	11.6	400	68.1	39.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	10,440,000 株	23年3月期	10,440,000 株
期末自己株式数	24年3月期3Q	383,982 株	23年3月期	383,982 株
期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	10,056,018 株	23年3月期3Q	10,055,677 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。  
 業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災及びその後の原子力発電所の諸問題、欧州経済不安並びに円高の長期化もあり、今後の景気に関しても不透明感を増しております。個人消費におきましても、景気の不安定さと相まって、将来的な増税や消費者の生活防衛意識による節約志向・低価格志向は根強く、本格的な景気回復に向けて依然として厳しい状況が続いております。

このような経営環境の中、当社グループにおきましては「社会で活躍できる人づくりを実現できる最高の教育機関を目指す」というコーポレートビジョンのもと、今こそ将来に向けて教育の果たすべき役割を再認識し、成績向上への全力指導ならびに生徒自身が自らを意欲喚起できる独自の教育プログラムEMS(the Educational Method of Self-motivation)の展開を通じて更なる差別化を推進してまいりました。

また、資格取得を中心とした社会人教育分野の拡大、速読を中心としたキャリアサポート分野の成長等、教育をコア事業としながら、既存事業とのシナジー拡張及び新分野進出に努めてまいりました。

以上の結果として、当第3四半期連結累計期間における連結業績につきましては、売上高は111億98百万円(前年同期比4.8%増)と概ね計画通り推移しましたものの、利益につきましては、学習塾事業での新規校・移転校の増加等による人件費・減価償却費・消耗品費等の経費が増加したこと、前期末より新たに当社連結グループに加わりました企業内研修ポータルサイト・コンテンツ開発販売事業を営む連結子会社での新規商品開発、販売チャネル拡充のための要員増等を主要因とした先行投資費用が発生したため、営業利益は3億13百万円(同49.2%減)、経常利益は3億11百万円(同47.3%減)となりました。なお、四半期純損失は前期に計上しました資産除去債務に係る特別損失の影響がなくなったものの、平成23年12月2日に公布された法人税率の引き下げにともなう繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率の変更による影響もあり、27百万円(前年同期は四半期純損失99百万円)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### (学習塾事業)

昨今の経済情勢を踏まえ、当社主力分野である公立志向が更に高まる中、民間教育機関では類まれな独自の意欲喚起教育EMS(the Educational Method of Self-motivation)の展開と成績向上に柱をおいた指導、先進的本物教育としての小学生オンライン英会話レッスンの導入、更には新規5校・移転6校(内、独立校舎3校)の設備増強等の結果、当第3四半期末生徒数は過去最高の22,411名(前年同期比2.7%増)となり、売上高は63億45百万円(前年同期比3.3%増)となりました。

\* EMSはモチベーションのアップにより学力の向上と人間力の成長を図る教育手法です。EMSのうち、特に「意欲喚起特別講座“みらい”」が経済産業省の「2011年度第2回キャリア教育アワード」で優秀賞に選ばれました。

#### (高認・サポート校・通信制高校事業)

高卒認定コースにつきましては、高卒認定試験制度の啓蒙・普及活動とインターネット利用ニーズの高まりに対応した在宅型WEB講座の展開、個別対応型WEB授業(ウィングネット)の全校導入を進めてまいりました。また、通信制高校ならびにサポート校につきましてはサービス内容の充実を図りつつ、社会人等の幅広い年齢層を対象にした介護福祉士・保育士等の資格講座の拡張を図るため、ウィザス専門学院を全国各拠点で展開してまいりました。

これらの結果、当第3四半期末生徒数は高卒認定コースが減少しているものの、通信制高校ならびに社会人向け新コース(ウィザス専門学院)が伸張し、8,567名(前年同期比0.02%増)となりましたが、売上高は平均単価が下落した関係から36億77百万円(前年同期比3.7%減)となりました。

#### (その他)

その他におきましては主に、広告事業、キャリアサポート事業及び企業内研修ポータルサイト・コンテンツ開発販売事業に係る業績を計上しており、当第3四半期連結累計期間における売上高は11億75百万円(前年同期比63.1%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて23.1%減少し、41億1百万円となりました。これは、現金及び預金が11億68百万円、授業料等未収入金が53百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて0.9%減少し、97億60百万円となりました。これは、建物及び構築物が1億35百万円増加し、有形固定資産のその他が99百万円、のれんが71百万円それぞれ減少したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて8.8%減少し、139億円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて17.7%減少し、62億25百万円となりました。これは、短期借入金が4億円増加し、前受金が14億65百万円、未払法人税等が3億87百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて5.0%増加し、34億60百万円となりました。これは、退職給付引当金が88百万円、社債が61百万円それぞれ増加したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて10.8%減少し、96億85百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて3.9%減少し、42億15百万円となりました。これは、利益剰余金が1億83百万円減少したことなどによります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想(連結・個別)につきましては、平成23年5月13日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,089,556	2,920,965
受取手形及び売掛金	188,029	193,884
授業料等未収入金	503,645	449,791
教材	63,201	47,880
商品及び製品	30,813	32,362
原材料及び貯蔵品	36,981	38,565
その他	443,306	438,364
貸倒引当金	20,531	20,014
流動資産合計	5,335,003	4,101,799
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,305,715	3,441,153
その他（純額）	1,494,071	1,394,341
有形固定資産合計	4,799,786	4,835,495
無形固定資産		
のれん	199,240	128,162
その他	593,271	553,329
無形固定資産合計	792,512	681,492
投資その他の資産		
投資有価証券	1,442,641	1,477,123
敷金及び保証金	1,443,354	1,401,743
その他	1,582,469	1,576,107
貸倒引当金	211,649	211,270
投資その他の資産合計	4,256,816	4,243,703
固定資産合計	9,849,115	9,760,691
繰延資産	61,849	38,400
資産合計	15,245,968	13,900,891
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	347,495	219,732
短期借入金	1,526,250	1,926,250
1年内返済予定の長期借入金	464,169	573,123
1年内償還予定の社債	250,800	277,000
未払法人税等	432,011	44,664
前受金	3,351,748	1,886,687
賞与引当金	216,381	71,962
その他	973,494	1,225,653
流動負債合計	7,562,350	6,225,073

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>固定負債</b>		
社債	446,000	507,000
長期借入金	1,164,308	1,202,338
退職給付引当金	610,712	698,776
役員退職慰労引当金	352,553	366,405
資産除去債務	491,239	508,114
その他	231,754	178,181
固定負債合計	3,296,567	3,460,815
<b>負債合計</b>	<b>10,858,917</b>	<b>9,685,888</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	1,299,375	1,299,375
資本剰余金	1,517,213	1,517,213
利益剰余金	2,215,923	2,032,127
自己株式	145,759	145,759
株主資本合計	4,886,752	4,702,957
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	119,145	132,313
土地再評価差額金	731,978	731,962
その他の包括利益累計額合計	612,833	599,648
<b>新株予約権</b>	<b>49</b>	<b>49</b>
<b>少数株主持分</b>	<b>113,082</b>	<b>111,644</b>
<b>純資産合計</b>	<b>4,387,051</b>	<b>4,215,002</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>15,245,968</b>	<b>13,900,891</b>

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 （四半期連結損益計算書）  
 （第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）
売上高	10,682,356	11,198,586
売上原価	8,221,908	8,755,970
売上総利益	2,460,448	2,442,615
販売費及び一般管理費	1,843,837	2,129,445
営業利益	616,611	313,170
営業外収益		
受取利息	5,901	5,400
受取配当金	10,320	13,054
持分法による投資利益	-	27,187
イベント協力金収入	8,824	7,451
その他	14,865	21,581
営業外収益合計	39,912	74,675
営業外費用		
支払利息	30,228	38,132
貸倒引当金繰入額	247	-
開業費償却	23,449	23,449
持分法による投資損失	6,842	-
その他	5,357	14,847
営業外費用合計	66,125	76,428
経常利益	590,398	311,416
特別利益		
貸倒引当金戻入額	58,022	-
負ののれん発生益	1,921	-
その他	9,695	-
特別利益合計	69,639	-
特別損失		
減損損失	36,157	18,773
固定資産売却損	3,256	-
固定資産除却損	32,829	24,162
投資有価証券評価損	40,492	32,392
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	271,118	-
その他	64,658	-
特別損失合計	448,513	75,329
税金等調整前四半期純利益	211,524	236,087
法人税、住民税及び事業税	202,299	244,489
法人税等調整額	102,064	11,364
法人税等合計	304,364	255,854
少数株主損益調整前四半期純損失（ ）	92,839	19,766
少数株主利益	6,792	8,062
四半期純損失（ ）	99,631	27,828



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失( )	92,839	19,766
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	79,887	13,167
土地再評価差額金	-	16
その他の包括利益合計	79,887	13,184
四半期包括利益	12,952	6,582
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	19,744	14,644
少数株主に係る四半期包括利益	6,792	8,062

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）セグメント情報等

前第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日至平成22年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	学習塾事業	高認・サポ ート校・通 信制高校事 業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	6,141,426	3,820,123	9,961,549	720,806	10,682,356	-	10,682,356
セグメント間の内部 売上高又は振替高	446	-	446	731,234	731,680	731,680	-
計	6,141,872	3,820,123	9,961,996	1,452,041	11,414,037	731,680	10,682,356
セグメント利益又は損失 ( )	1,166,396	349,258	1,515,655	12,260	1,503,394	886,783	616,611

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告事業、キャリアサポート事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失( )の調整額 886,783千円には、セグメント間取引消去 2,430千円、のれん償却額 18,696千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 865,656千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	学習塾事業	高認・サポ ート校・通 信制高校事 業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	6,345,464	3,677,198	10,022,662	1,175,923	11,198,586	-	11,198,586
セグメント間の内部 売上高又は振替高	611	-	611	763,950	764,561	764,561	-
計	6,346,075	3,677,198	10,023,274	1,939,873	11,963,148	764,561	11,198,586
セグメント利益	1,041,391	203,287	1,244,679	647	1,245,326	932,156	313,170

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告事業、キャリアサポート事業及び企業内研修ポータルサイト・コンテンツ開発販売事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額 932,156千円には、セグメント間取引消去3,754千円、のれん償却額 55,185千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 880,725千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。